

# 製品安全データシート

会社名 武藤化学株式会社  
住所 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-10-7  
担当部門 学術課  
電話番号 03-3814-5511 FAX 03-3815-4832  
緊急連絡先 学術課 TEL 03-3814-5511

MSDS番号

作成 2010年3月10日

製品名 コーン染色液(クロラゾールブックE染色液)

## 物質の特定

単一製品、混合物の区別：混合物

### 含有成分

化学名	クロラゾールブラックE	基本液
含有量	5g	1000ml

### 基本液

化学名	アルコール	酢酸	フェノール	1%リントングステン酸	精製水
含有量	330ml	20ml	20ml	12ml	618ml
化学式	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	CH <sub>3</sub> COOH	C <sub>6</sub> H <sub>5</sub> OH		
既存化学物質番号					
CAS No.	64-17-5	64-19-7	108-95-2		

## 危険有害性の分類

分類の名称：PRTRに該当する

危険性：エタノールを約33%含んでいるが、その濃度が低い水溶液であるため火気による危険性は少ない。

有害性：蒸気は鼻、喉、気管支、肺等を激しく刺激し炎症を起こす。  
皮膚に触れた場合、皮膚炎を起こす。  
目に入った場合、粘膜を激しく刺激する。

環境影響：大気汚染、海洋汚染に対する規制。

応急処置 目に入った場合：流水で十分に洗い、眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴を速やかに脱がせる。医師の手当てを受ける。

吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移し、患者の虚脱を防ぐため枕をせずに寝かせ、毛布等に包んで安静保温し、速やかに医師の手当てを受ける。

## 火災時の措置

：可燃性成分のエタノールの含有率は少なく、通常の保管状態の場合引火の危険性は少ない。が、火災の際、本容器を安全な場所へ移動する。

## 漏出時の措置

少量のこぼれ：漏れ出した本液を多量の水で希釈して洗い流す。

多量のこぼれ：漏れ出した本液を土砂、土壌などで流れを止め、遠くからホース等で多量の水をかけて希釈して洗い流す。この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。作業の際風下を避け、保護具を着用する等して蒸気を吸入したり、皮膚に付着しないよう注意する。

---

## 取扱い及び保管上の注意

取扱い：換気扇または局所排気装置を作動し、保護マスク、保護手袋等を用い、直接触れないよう注意する。

保管：直射日光を避け、換気のある所で保管する。毒劇物取締法に準拠した貯蔵をする。

---

## 暴露防止装置

コーン染色液としての暴露防止措置についての情報はない。そこで主要成分（エタノール及びフェノール）について記す。

	エタノール	フェノール
ACGIH許容濃度 TWA	1000ppm	5(皮)
日本産業衛生学会許容濃度		5(皮)

設備対策：局所排気又は全体排気装置、洗面所、ガス検知管、アルコール検知管。

保護具：有機ガスの防毒マスク又は送気マスク。 護眼鏡、不浸透性保護前掛、労働衛生保護手袋等を使用する。

設備対策：火気厳禁の措置をする。局所排気施設を設置する。洗眼施設及び身体洗浄施設を設置する。

保護具：通常はゴム手袋、安全靴。

高濃度の場所ではゴム手袋、安全靴、保護メガネ、防毒マスク着用

---

## 物理／化学的性質

外 観：黒色で透明な液体。アルコールによる刺激性の臭いあり。

溶解性：水と任意の比で混和する。

---

## 危険性情報

可燃性：可燃性成分のエタノールの含有率はそれぞれ少なく、通常の保管状態の場合引火の危険性は少ない。

発火性（自然発火性、水との反応性）：なし

酸化性：なし

自己反応性、爆発性：なし

粉塵爆発性：なし

---

## 有害性情報

コーン染色液そのものの有害性データはない。そこでコーン染色液中の有害と考えられ成分（エタノール及びフェノール）についてその有害性について記す。

①エタノールについて

皮膚腐食性：皮膚を刺激し硬化させ、潰瘍を生じる。  
刺激性（目、他）：エタノール蒸気は目を刺激し、涙が出る。  
吸入すると粘膜が刺激され、咳が出る。  
急性毒性：エタノールに関する毒性データ  
LD<sub>50</sub> 経口ラット 10.6g/kg  
がん原性（微生物、染色体異常）：知見なし  
生殖毒性：知見なし  
催奇形性：知見なし

②フェノール

皮膚腐食性：皮膚を刺激し硬化させ、潰瘍を生じる。  
刺激性（目、他）：フェノール蒸気は目を刺激し、涙が出る。  
吸入すると粘膜が刺激され、咳が出る。  
急性毒性：フェノールに関する毒性データ  
LD<sub>50</sub> 経口ラット 270mg/kg  
LC<sub>50</sub> 吸入ラット 177 mg/m<sup>3</sup>

---

環境影響情報 分解性：知見なし  
蓄積性：知見なし  
魚毒性：知見なし

---

廃棄上の注意 少量の場合：多量の水で希釈して廃棄する。  
多量の場合 ②燃焼法  
アフターバーナーを備えた焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。

---

輸送上の注意：漏洩に注意し、直射日光を避け、慎重に運ぶ。

---

適用法規 労働安全衛生法：法第57条の2第1項の政令で定める物は、別表第9掲げる物とする。  
労働安全衛生法：表示対象物質  
水質汚濁防止法：生活環境に係わる物質  
P R T R法：フェノール

---

引用文献 1) 渡辺恒彦、他：病理標本の作り方、病理技術研究会編、文光堂、1992  
2) 化学物質安全性データブック 化学物質安全情報研究会編、オーム社、1994  
3) 危険物データブック（第2版）東京消防庁警防研究会監修 丸善 1993  
4) 試薬ハンドブック 日本試薬連合会編集 改訂、化学工業日報社、1992

---

危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、注意してご利用ください。

---

記載内容の問い合わせ先 武藤化学株式会社 学術課 TEL:03-3814-5511